



奈良町家
NARA MACHIYA

ならの ある家族と まちや 奈良町家の風景 くらし



長く住まいとして受け継がれてきた奈良町家。ここには、快適に暮らすための知恵がたくさん詰まっています。昔ながらの暮らし？いいえ、今も楽しく暮らすことができます。奈良町家で暮らす家族の日常から、心豊かな暮らしのヒントを見つけてください。



STORY 1
玄関先

朝、家の前を掃き、打ち水をして清め、清々しい気持ちで一日が始まります。ホコリがたつのを抑えたり、夏場は涼をとる効果があると言われています。

参考文献

- 『奈良市史(建築編)』奈良市史編集審議会 編/奈良市 発行(1974年)
- 『ならまちぶらりガイド』上野邦一 著/奈良市教育委員会 発行(1993年)
- 『ならまち今確かな時を見る』パネル展示資料 なら・町家研究会 発行(1994年～)
- 『和の住まいのすすめ』『今に生きる日本の住まいの知恵』編&『識者が語る日本の文化と家』編和の住まい推進関係省庁連絡会議 発行(2013年)
- 『奈良町 町家デザインブック-奈良町で新築・リフォームをお考えのあなたに-』公益社団法人 奈良まちづくりセンター 発行(2015年)

撮影協力 サイクルショップ スギヤマ

発行 奈良市伝統文化いきいき実行委員会
奈良町にぎわいの家管理共同体
(公益社団法人奈良まちづくりセンター、
特定非営利活動法人さんが併座、
なら・町家研究会)
〒630-8333 奈良市中新屋町2-1
0742-20-1917 / 0742-26-3476
<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

平成30年2月発行



本事業は平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産総合活用推進事業)の補助を受けて実施しています。



町家の朝は、
いつも賑やか!

STORY 2 通り庭

近所のお友達が玄関から顔をのぞかせ、声をかけてくれる。
「おはよう!」「いってきます!」
通学の子も達と一緒に、お母さんも出勤です。
お父さんは有給休暇でお留守番(ちょっぴり寂しそう)。

町と家族がつながる場所

道路から土間でつながる通り庭は、
町と家をゆるやかにつなぐ空間。
ご近所さんや友達が
気軽に立ち寄っておしゃべりをしたり、
子どもたちのちょっとした遊び場になったり。
町と家をつなぐコミュニケーションの場となっています。

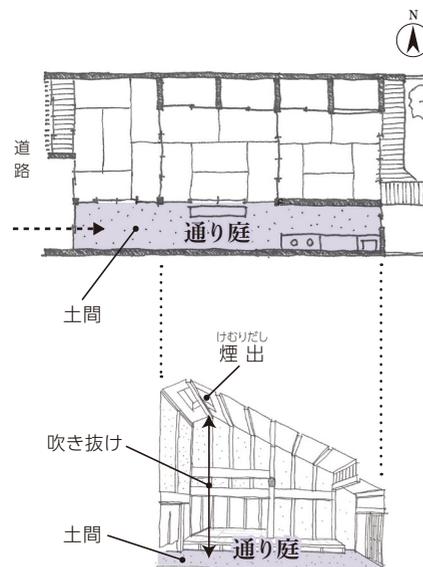


吹き抜けは、楽しくて機能的。

通り庭は小屋裏まで吹き抜けになっている、天井の高い空間です。^{けむりだし}煙出や高窓があり、かつてはそこからかまどの煙を外に出していました。建物全体の空気の循環を促す働きもあり、上下階のつながりを感じさせる空間でもあります。

奈良町家のキーワード

通り庭 おもやの中を道路から裏へとつながる土間空間。道路に面する部分は玄関、奥は台所になっています。床が土間なので、庭の畑仕事や植木の剪定、奥の建物の修繕などの際には、道路から裏まで大きな荷物を持って土足のまま行き来することができます。屋外のようにあり室内のようでもある特有の空間です。





STORY 3

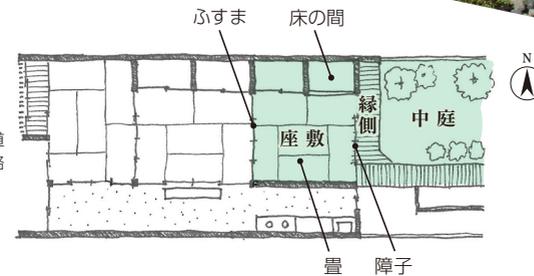
座敷～縁側～中庭

中庭からは子どもたちのはしゃぐ声。
お父さんは縁側で
外の空気を吸いながらメールチェック。
パチンパチンと花を切るはさみの音。
お母さんは、座敷で床の間の花を飾る。
今日はお客様が来るのかな。

ちょうどいい家族の気配 心地よい自然とのつながり

室内は、障子やふすまでゆるやかに区切られ、
家族がそれぞれの場所で過ごしていても、
なんとなく一緒にいることが感じられます。
自然を感じながら、家族を感じながら、
日々を過ごす暮らしが奈良町家にはあります。

家族のヒトコト
仕事と育児の両立！
私の奈良町家暮らしの
ポリシーです！



お父さん
お仕事進まないけど
それもお愛敬



奈良町家のキーワード

- 畳** 和室を象徴する床の材料。い草という植物などで作られています。
- 障子** 木枠に和紙を貼った建具。木枠の組み方で様々なデザインが可能です。和紙を通して、やわらかい光が入ります。
- ふすま** 木の骨組に紙を下地貼りし、表面を紙や布とした建具。ふすま紙や引手には様々な柄や形、文様を見ることができます。
- 座敷** 来客用の和室。人数が多い場合は、ふすまや障子をはずして続き部屋にして使います。
- 床の間** 座敷に設けられた掛け軸や置物、花を飾る場所。季節や行事によって、しつらえが変えられます。
- 縁側** 座敷と庭の間に設けられた板敷の廊下状の空間。障子を開けることで、室内とつながる半屋内空間となります。
- 中庭** おもやと離れの間設けられた庭。奥行き深い町家の住空間に光と風を運び大切な役割があり、季節の移ろいが感じられる空間です。

奈良町家は
こんなに
フレキシブル



友達や親戚など、たくさんの人が集まる夜は、広く使って大宴会!

フレキシブルとは、柔軟性が高いこと。奈良町家を含む日本の住まいは、さまざまなライフスタイルに合わせて自由な使い方が可能です。

フレキシブルな座敷

ふすまや障子で仕切られた部屋は、開けたり閉じたり外したり、シーンに合わせて部屋の広さを調整することができます。

日だまりで、お手伝いと団らの時間。



客間に変身。お客様をおもてなし。



家族そろって朝食。



ふとん敷きも、楽しい時間になる。



フレキシブルな通り庭

土間空間の通り庭は、室内なのに屋外みたいな便利で楽しい空間です。ご近所さんとおしゃべりしたり、お父さんの作業場になったり、子どもたちの遊び場になったりと、土間ならではの可能性が広がります。



ご近所さんとの談笑。



男の土間は、趣味の空間!



雨の日は遊び場に変身!

靴を脱ぐ場所

『くつぬぎ石』

湿気を避けるために床を高くする奈良町家では、段差を解消するため縁側や玄関の上り口に沓脱石(くつぬぎいし)が置かれています。この沓脱石の上で履物を脱ぐと、足裏を汚さずに室内に入ることができます。

奈良町家の材料

古くなくても味わいが増す町家の材料。石、木、土、紙、畳、瓦。強さ、優しさ、温もりを感じます。傷んだところは取り替えて使い続けることができるのは、これらの素材の力です。



奈良町家では、今も居住空間として、
たくさんの方が町家暮らしを
満喫しています。

奈良町家で
聞きました

それぞれが感じる奈良町家の心地良さ。
そんなナマの声を集めてみました。

暮らしの素顔

町家は
落ち着く

通り庭にある台所は、土のついた野菜
もそのまま持ち込めて便利！
家族も手伝ってくれて、みんなで楽しく
料理を作っています。



奈良町には茶室がある町家も
多いですよ。
気軽にお茶を楽しんでいます。



裏の畑で家庭菜園をして
います。丹精込めた野菜
ですから、収穫の喜びは
ひとしおです。



せまい空間は、こもるのに
最適。つしを書斎や勉強
部屋に使っています。



ご近所さんと夜回り。
地元のお祭りをみんなで手伝ったり、
地域とのつながりを感じています。



一番奥には蔵があって、
いろんなものを収納し
ています。
昔の道具も大事に保管
しています。



ご飯の後や休みの日には、
畳でごろごろ。最高です。



スーッと風が抜けるので
気持ちが良いんです。



光と影のコントラストが
美しいと思います。
お天気によっていろんな
表情を見せてくれます。



炭の火は、見た目にも温かい。
季節ごとの風情があります。



季節のたより



庭の花々は春風にゆれて
奈良町の日差し、うららか。



旬の野菜を大収穫！
梅の仕事も忘れずに。



秋

月夜を楽しんだり、
干し柿を作ったり。
中庭を染める紅葉も美しく。



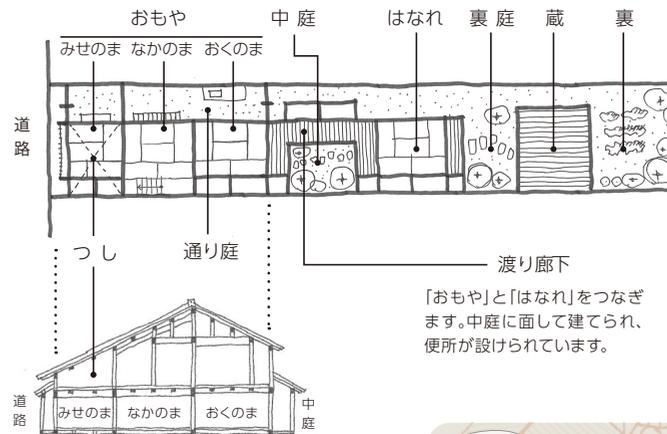
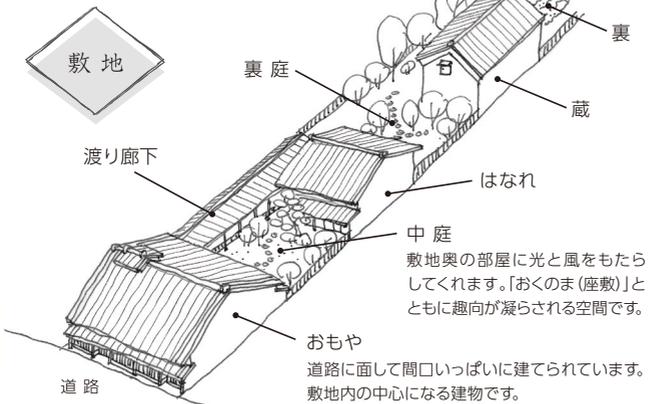
冬

火鉢のぬくもりを感じて。
新年のしつらえも清々しい。

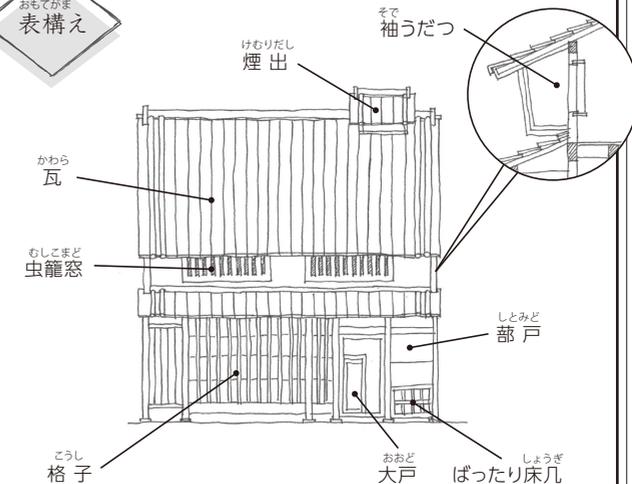


奈良町家の基礎知識

奈良町家の敷地は、間口が狭く奥行きが深いのが特徴です。中庭を設けて光と風を取り入れたり、通り庭と呼ばれる土間を設けて道路から敷地の奥まで入れるようにするなど、工夫がたくさんあります。かつては道路に面した「みせのま」に商品を並べて、商売をしていた奈良町家も多かったようです。



つし
高さを低く抑えた2階部分のことで、奈良町では比較的多く見られます。



あらためて
町家とは？

都市における町人の住まいとして、限られた土地で合理的に暮らすために考えられた、すぐれた住まいの形式です。